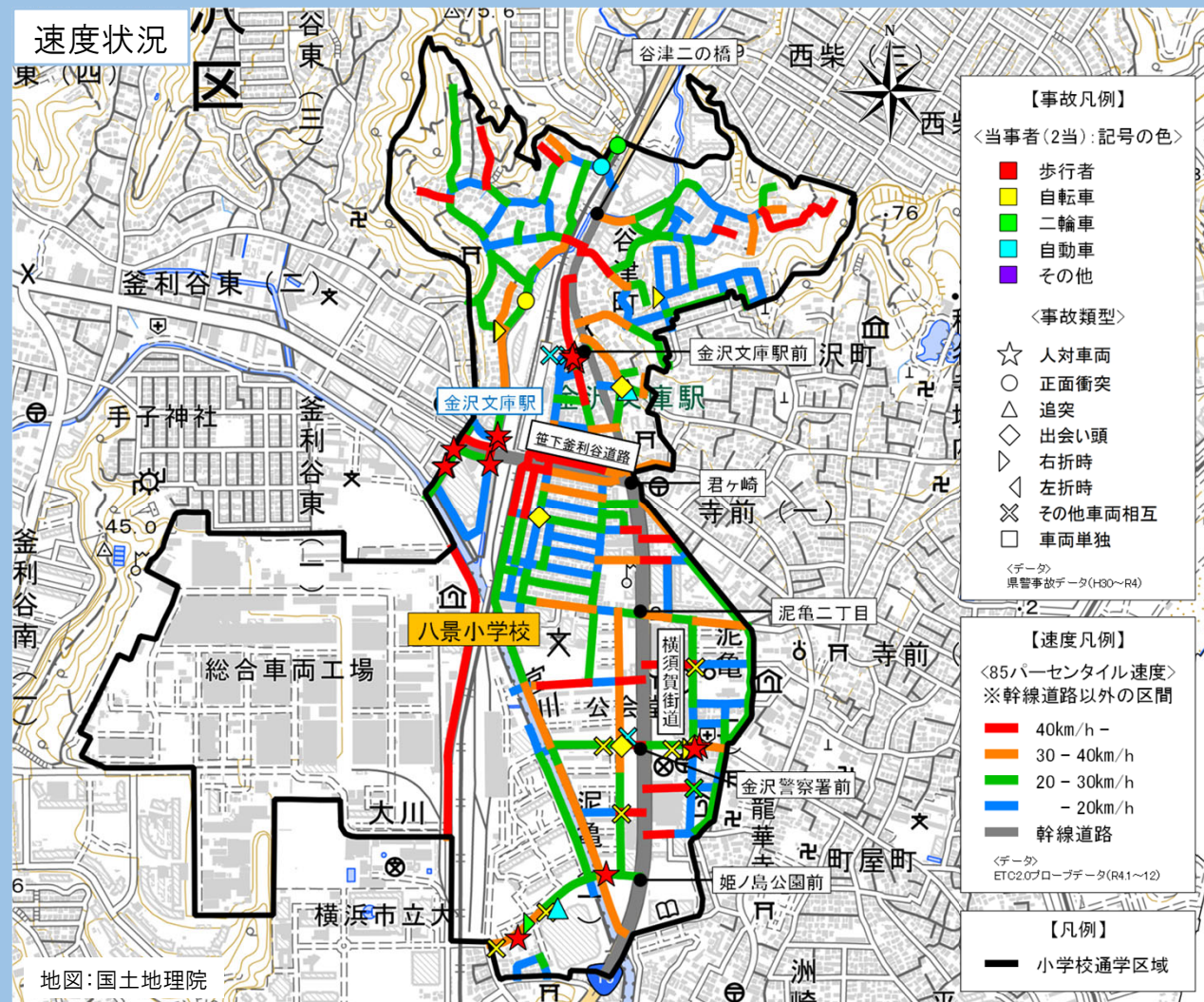
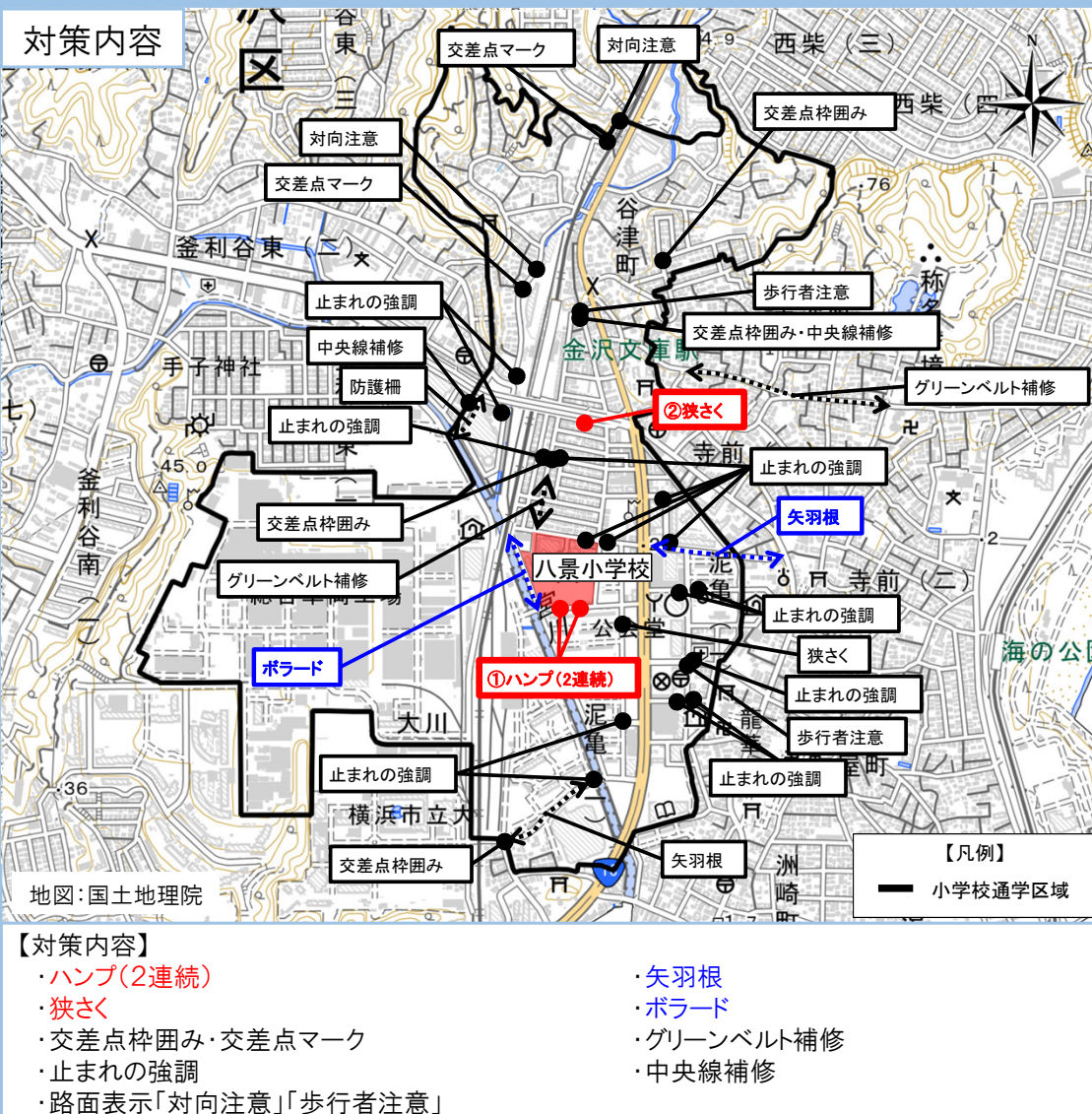


速度状況と対策内容

ETC2.0から取得した車両速度データや交通事故データを基に対策を検討し、学校や地域と協議を重ねたうえで対策を実施した。特に小学校周辺の速度が高い道路に対しては、速度抑制を目的としてハンプを設置した。また、校区全体で路面表示などを用いて注意喚起を行い、児童の登下校時の安全確保を図った。



※ETC2.0分析結果（国土交通省提供）を加工し、横浜市が作成
 ※交通事故データ（神奈川県警）より抽出



①ハンプ(2連続)



②狭さく



交通安全対策取組フロー

課題把握 → 対策案 → 合意形成 → 対策実施 → 効果検証

ETC2.0や地域の声をもとに課題を把握
 ETC2.0や交通事故データをもとに作成
 R6.7.10スクールゾーン対策協議会において対策案を説明
 いただいたご意見等も踏まえ対策実施
 ETC2.0データの分析や通学児童へのアンケートを実施

スクールゾーン対策協議会からの主な要望

ゾーン30の規制がかかっていることも知らなかった。
 この対策を契機に区域が分かるように強調してもらいたい。

速度が高いところは、速度が出しにくくなるような対策をしてほしい。

自転車通行空間整備 (矢羽根)



ポラード整備



児童向けアンケート

Q. 工事をして、安全になったと思いますか？

■ 安全になった。
 ■ 今までと変わらない。

全学年
 (回答数342名)

89.8%

10.2%

89%以上
 が安全に
 なったことを
 実感！



小学校の横のグラウンドの所が車の速度が落ちて安全だと思いました。

八景小学校児童（5年生）



交通安全対策をしたことで、私たちはこれまで気をつけていなかったことに目を向けるきっかけになりました。

八景小学校児童（6年生）

金沢区 八景小学校

【対策方針】

【児童の取組】

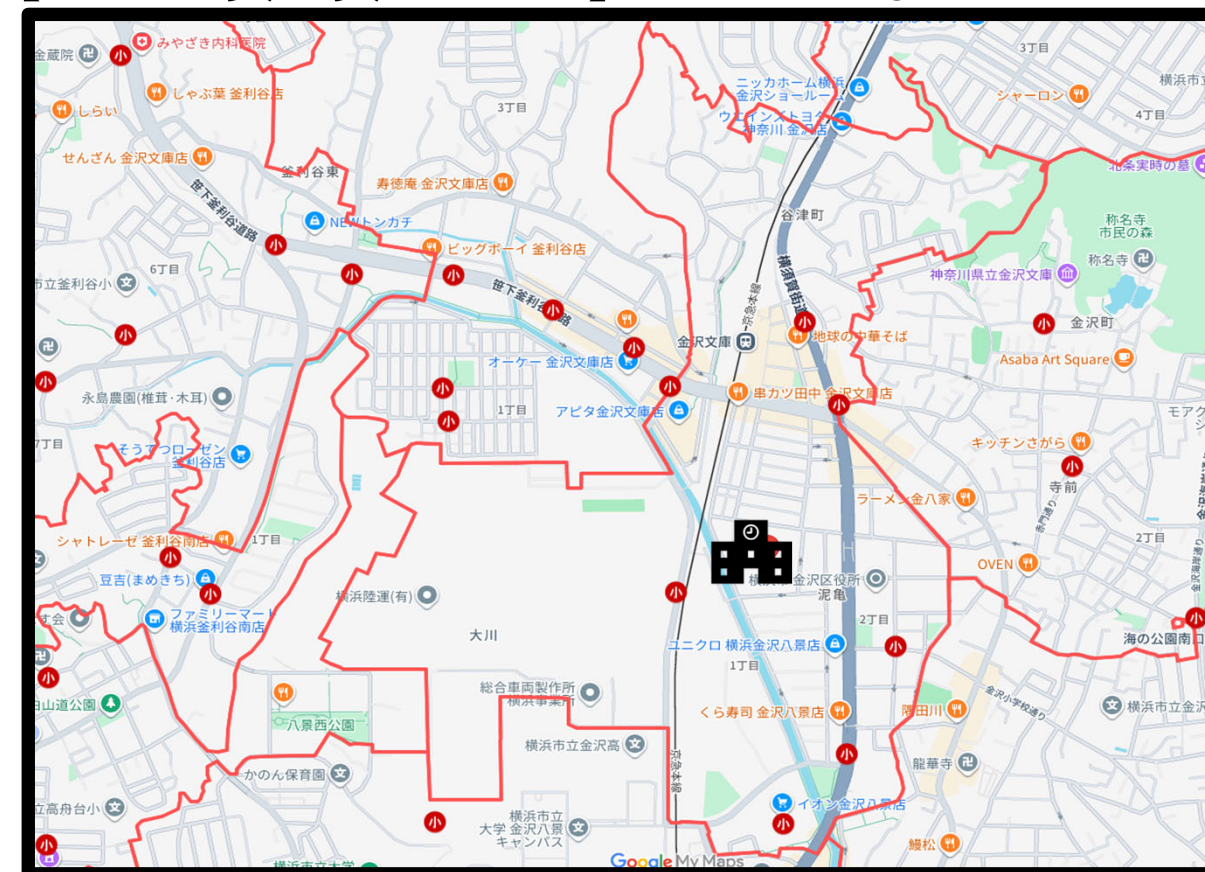
- はまっこ交通安全教室の実施する。
- 登下校について、前期のふり返りと後期のめあてを考える。
- 6年生が交通安全「のぼり旗」を作成する。
- 交通安全に関する掲示を校内掲示板で実施する。

【保護者や地域との取組】

- 朝会での見守り隊の紹介と挨拶による連携する。
- スクールゾーン対策協議会や学校運営協議会で協議する。

【こども・安全安心マップ】

引用:Googleマップ



■ 対策事例

自転車マナーアップ大会への参加



交通安全協会と金沢区が共催している大会に5、6年生の希望者が参加

【学校からのコメント】

大会の練習を通して交通安全の知識と技能を習得。県大会に出場し、表彰することで全校に安全意識が波及した

放課後キッズクラブ交通安全教室

(実施日:(1回目)令和6年8月19日(2回目)令和6年12月25日 参加人数:74名)



下校時間の遅く1人で帰ることが多い放課後キッズクラブの児童に向けて、委託事業者による交通安全教室を実施

【交通安全教室の主な内容】

こども・安全安心マップを基に、交通安全マップを作成するグループワーク

はまっこ交通安全教室

(実施日:令和6年5月23日 参加人数:127名)



道路を1人で歩くことが多くなる1年生と自転車を使い始める4年生を対象に、交通安全協会が交通安全教室を実施

【交通安全教室の主な内容】

1年生:道路の正しい歩き方
4年生:自転車の乗り方 ほか

幼児交通安全訪問指導

(実施日:令和6年10月1日ほか3回実施 参加人数:計154名)



未就学児を対象に道路の歩き方などをパネルシアター等を用いて道路局の幼児交通安全教育指導員が実施

【訪問した園】

横浜市金沢さくら保育園、スターチャイルド金沢文庫ナーサリー、あおぞら谷津保育園、金沢八景YMCA保育園

※写真は対象園とは異なります